

社会福祉施設等施設整備費国庫補助金の予算確保について

【担当省庁】厚生労働省

奈良県における取組

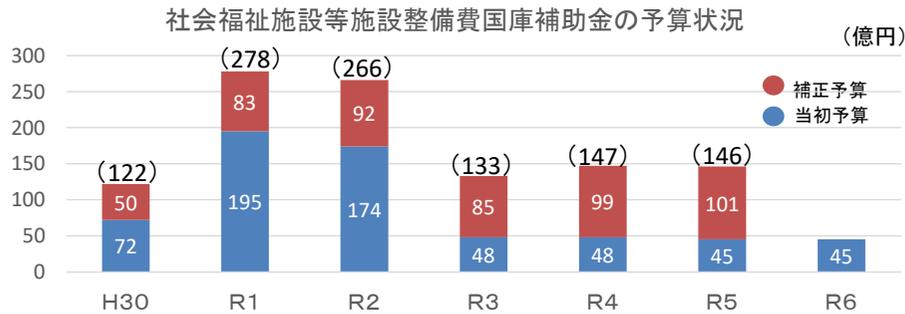


令和6年度においても、奈良県からの社会福祉施設等施設整備の国庫補助協議について、採択をいただき、心より感謝します。

① 国における予算状況

障害者の社会参加や地域生活を支援し、グループホーム等の各種社会福祉施設の整備を促進するため、従来より社会福祉施設等施設整備費国庫補助金(以下、「当該補助金」という)を予算確保していただいているところ。

当該補助金については、令和3年度以降、当初予算が大幅に減少し、奈良県においても、施設整備の要望が累積している状況。



② 奈良県における県への申請、国への協議の状況

当該補助金については、事業者からの申請内容を県が精査し、必要かつ最低限の内容に絞ったうえで国へ協議し、同時に県負担分ともに各年度の当初予算案に計上しているが、令和3年度以降は国の採択件数、額ともに低い状況が続いており、**必要な施設整備が進んでいない**。

当初予算における奈良県の状況

年度	①県への補助申請 (うち国庫補助額)		②(当初予算における) 国への補助協議		③(当初予算における) 国による採択	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R3	5	117,803	5	117,803	1	2,500
R4	7	212,673	5	89,235	2	45,578
R5	10	300,842	1	76,266	1	76,266
R6	9	355,654	2	44,132	2	44,132

③ 奈良県において今後必要な施設整備

○重度障害者のための居場所づくり

施設から地域へという国の方針のもと、グループホーム(以下「GH」という。)は全国的に増加しているが、本県では、重度障害者が利用できるGHが少なく、地域的にも偏在している状況。

このような状況を踏まえ、本県では、重症心身障害児者や医療的ケア児者等の重度障害者への支援を強化していきたいと考えており、今年度改定を予定している「奈良県障害者計画」においても、内容を充実させていく予定。

引き続き、障害特性に応じたGHの増加や地域の偏在解消に向けて、県審査においても、優先的に整備できるよう検討していきたいと考えている。

類型		県内合計				うち 南和園域
		介護サービス 包括型	外部サービス 利用型	日中サービス 支援型		
GH	事業所数	190	167	5	18	0
	定員(人)	2,615	2,099	61	455	0

○生活の質の向上のための大規模修繕

地域移行を促進する必要がある一方で、加齢による障害の重度化等により、依然、障害者支援施設の必要量の確保が望まれている。

奈良県における障害者支援施設は、築20年以上が経過し老朽化しているものが多いため、継続的に大規模修繕を実施し、入所者の生活の質の向上を図っていく必要がある。

<奈良県内の障害者支援施設(全33施設)>

	築0～9年	築10～19年	築20～29年	築30年以上	合計
障害者支援施設	4	7	15	7	33
割合	12%	21%	46%	21%	100%

国にお願いすること

○引き続き、地域における障害者のサービス利用ニーズに応えられるよう、基盤となる各種障害福祉施設の整備をより推進するために、社会福祉施設等施設整備費国庫補助金について、**必要な予算の確保**をお願いします。

○なお、十分な工期が確保できるよう、(明許繰越ありきの補正予算ではなく、)**当初予算**での確保をお願いします。

【県担当部局】 福祉医療部障害福祉課